

## 令和7年度 ねりま協働ラボコラボチャレンジ 審査委員コメント

事業名	演劇を取り入れたキッズ認知症教室
実施団体	認知症を考えるカフェ練馬
連携団体	認定 NPO 法人ふくし住まい支援の会、THEATRE MOMENTS 他

### 1 協働の工夫・魅力

身近に認知症当事者がいない方に対する認知症への理解促進という困難な課題に対して、演劇で分かりやすく伝えようという点が、アイデアとして光っていると感じます。

また、劇団、福祉団体、大学生と協働し、演劇を取り入れたキッズ認知症教室を実現するこの取組は、「団体同士の連携により、地域課題の解決を目指す」というねりま協働ラボの理念を体現する取り組みであり、評価できます。

### 2 成果・地域への波及効果

観客である子どもたちも参加するとのことで、単に観るだけでは得られないものがあると期待しています。

また、初演に向けて実施してきた演劇ワークショップや介護施設への訪問などは、演じる側の認知症への理解が深まるとともに、演技に説得力がでる良い取り組みであると思います。

### 3 次への期待

練馬区でも高齢化の進行に伴い、認知症への理解促進に対する重要性は、これまで以上に重要になると思います。

今後は子どもだけではなく、その親世代に対するアプローチができると、認知症に対する社会全体の理解がより深まっていくのではないのでしょうか

初演を大変楽しみにしております。

#### 4 自由記述

認知症当事者が身近にいない方に対して、「演劇」という観点からアプローチすることは、斬新な切り口で印象的でした。ますます高齢化が進むこれからの時代、認知症への理解促進は、これまで以上に重要なテーマになると思います。

演劇を観る側の子どもと演じる側の大学生の双方が、認知症に対する理解を深めることができる素晴らしい取組であり、今後のさらなる発展を応援しています。